

令和 6 年度 第 2 回 天王寺区政会議

日 時：令和 6 年 1 2 月 3 日（火）

午後 7 時 0 1 分～午後 8 時 5 1 分

場 所：天王寺区役所 3 階 講堂

出席者

（区政会議委員）

飯田委員、石野委員、江畑委員、大野委員、岡内委員、岡崎委員、川畑委員、
栗谷委員、児玉委員、佐藤（和代）委員、佐藤（哲司）委員、佐野委員、高橋委員、
竹田委員、東川委員、橋本委員、長谷川委員、服部委員、平嶋委員、平田委員、
藤本委員、堀井委員、榊井委員、山田委員、南委員、三輪委員、安田委員、吉田委員、
出席 2 8 人／定数 3 6 人

（市会議員）

金子議員、須藤議員

（天王寺区役所）

末村区長、松永副区長、高嶋企画総務課長、森岡事業戦略担当課長、
高橋（典良）企画総務課長代理、武部市民協働課長、
住田市民協働課地域活動支援担当課長代理、
北島市民協働課安全まちづくり担当課長代理、
原田教育文化担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、
近藤市民協働課教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区
教育担当課長代理、大島保健福祉課長、森本保健福祉課福祉担当課長代理、
寺戸子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、

草川保健福祉課子育て支援担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区教育担当課長代理、高橋（幸子）保健・生活支援担当課長、
黒田保健福祉課保健・生活支援担当課長代理、尾古貴窓口サービス課長、
佐梁窓口サービス課保険年金担当課長代理

○森岡事業戦略担当課長

定刻が参りましたので、ただいまより令和6年度第2回天王寺区区政会議を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の森岡と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、先日お送りしました資料について、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたらお申し出ください。手を挙げていただきましたら、お渡しいたします。皆様お持ちでしょうか。ありがとうございます。

それでは、議題等に入る前に、委員の皆様についてご紹介いたします。

現在の区政会議委員の皆様は、令和5年10月1日から令和7年9月30日を任期といたしまして、地域団体のご代表23名、公募委員13名、合わせて36名の方方で構成されております。

委員全員の名簿は、資料1の区政会議委員名簿（班別）という資料になっておりますので、個別の紹介は割愛させていただきます。

なお、子育て教育班の池田委員、地域社会づくり班の上田委員、情報発信班の酒井委員、立川委員、舟本委員、宮寄委員につきましては、欠席の旨、ご連絡をいただいております。

また区政会議には、お忙しい中、金子議員、須藤議員にご出席いただいております。ありがとうございます。本日も議題の最後に、ご助言、ご意見をいただきますようお願い

願ひ申し上げます。

続きまして、ここにおります区役所職員のうち、本年度１０月１日付で異動がありました者についてご報告をいたします。

副区長の松永でございます。

○松永副区長

松永です。よろしくお願いします。

○森岡事業戦略担当課長

なお、本会議は公開となっております。会場内のカメラ撮影は議事の全てが対象となることを、ご了承願います。議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音しております。また、全市的な取組としまして、多くの方に会議の模様をご覧いただけるように、本日の区政会議は、会議の内容を録画の上、後日インターネット配信を行いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

本日の会議は、傍聴の方がお見えです。本会議は分科会形式で進行します。各班での審議の際、傍聴の方は、各会議室を回っていただいて差し支えありませんが、傍聴要領は遵守いただきますようお願いいたします。

なお、本日の区政会議の様子を広報紙等に掲載するため、事務局が会議中に写真を撮影させていただきます。

職員からの説明は端的に、簡潔に、を心がけ、委員の皆様のご意見をいただく時間をできるだけ設けたいと考えております。また、今回の会議から、事前にご意見、ご質問等をいただいております。私どもの回答、対応とあわせまして、より議論を深める材料としていただければ幸いです。

それでは、次第に戻ります。

続きまして、末村区長よりご挨拶申し上げます。

○末村区長

皆様、こんばんは。区長の末村でございます。

本日も大変皆様お忙しい中、このようにお時間を賜りまして、本当にありがとうございます。今日が今年度の2回目の区政会議ということに相なります。令和7年度区運営方針、こちらの素案についてご説明をさせていただきます、その後、班に分かれてご議論をいただくという運びで進めさせていただきます。皆様から事前にご質問などいただいております、こちらについては、前回の会議から皆様方のお机の上に、お手元に置かせていただくというような形で進めさせていただきます。せっかく事前にしっかりといただいたご質問やご確認事項でございますので、また、ご確認をいただきながら議論に役立てていただければ、ありがたく存じます。

来年、区制の100年もそうですし、万博の開催と、大変大きな取組が迫っている1年となります。ますます天王寺が充実をし、またその魅力が外の皆様方、内側の皆様方、みんなと共有できるように進めてまいりたいというふうに思いますので、どうぞ本日もよろしくお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

○森岡事業戦略担当課長

それでは、続きまして、竹田議長からご挨拶をお願いいたします。

○竹田議長

こんばんは。本当に本日はお忙しい中、またお寒い中、ご参加いただきまして、ありがとうございます。本会議で皆様からいただきましたご意見、アイデアを基に行政には、これからよりよい取組を進めていただきたいと思います。では、会議のほう、よろしくお願いいたします。

○森岡事業戦略担当課長

竹田議長、ありがとうございました。

それでは、服部副議長、進行をお願いいたします。

○服部副議長

皆さん、こんばんは。それでは、進行のほう進めさせていただきます。

これより皆様のご協力の下、会議が有意義なものとなりますよう進めてまいります。

よろしくお願いいたします。

初めに、事業戦略担当課長より本日の流れを説明いたします。

○森岡事業戦略担当課長

区政会議におきましては、年度を通じて委員の皆様にご協力いただくことといたしまして、例年、第1回区政会議、今年は8月に開催させていただきましたが、そこで前年度に区役所が進めた事業について評価をいただき、さらに今年度の課題について、ご意見をいただく場としております。また、今回の第2回区政会議では、今年度の取組から、次年度に区役所が行うべき事業についてご意見をいただきながら、次年度の区の運営方針等を固めていくという流れになっております。

本日の議題は、「令和7年度運営方針（素案）」について取り扱いさせていただきます。

それでは、本日の議題について、末村区長より説明の後、審議に移ります。

審議は、分科会形式によりまして、班毎でお願いしております。班毎に議論、ご意見いただきたいテーマ、経営課題を設定しておりますので、その課題を中心に、8時20分頃まで各班でご議論いただき、その後、各班で出た意見等を全体で共有します。

司会、進行は、各施策・事業を所管する課長、課長代理が担当いたします。

議題は、8時40分頃に終了し、続いて、区長から一言申し上げます。

また、締めにあたりましては、金子議員、須藤議員よりご助言、ご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、事前にお送りしました区政会議に関するアンケートにつきましては、本日お帰りの際に事務局へお渡しくделаいますよう、よろしくお願いいたします。

流れの説明は以上でございます。

○服部副議長

それでは、末村区長より、資料2、令和7年度運営方針（素案）の3ページから5ページを中心にご説明いたします。

それでは、末村区長、よろしくお願いいたします。

○末村区長

ありがとうございます。着座でご説明をさせていただきます。

皆様のお手元の資料の2、横長の資料になります。こちらの3ページをお開けいただければというふうに思います。失礼いたします。

まず、区の目標についてでございますけれども、何をめざすのかについて、1つ目が、みんなの「思い」が区政に反映されているまち、それから2つ目に、子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまち、3つ目に、だれもが安全で安心していきいきと暮らし続けるまち、4つ目に、歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち、5つ目、つながり合い、支え合い、助け合うまち、これらが区の目標でございます。

次の4ページに移ります。

では、区の使命、どのような役割を担わせていただくのかについてでございます。1つ目が、より区民に身近な立場から「ニア・イズ・ベター」を徹底し、地域の特性に応じた施策・事業を展開する。

持続可能な財政運営を図るため、選択と集中を進め、子どもたちの健やかな成長と教育に必要なサポート、支援を要する人への福祉の強化を図るとともに、災害対策への予算の重点配分を行う、でございます。

では、次の区運営の基本的な考え方に進ませていただきます。5ページになります。

経営課題1、子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり。地域特性を活かして子育て・教育施策に取り組み、安心して子育てができる環境づくりを進め、子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまちをめざします。

経営課題2、気にかける・つながる・支えあう地域福祉。支援を要する方々について見守りを推進するとともに、交流機会の充実を図ります。健康でいきいきと暮らせるまちをめざし、健康増進の取組を展開します。

経営課題３、大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組です。地域一体となった地域課題解決、地域活性化に取り組む「地域活動協議会」の運営支援とともに、地域の力を結集した「防災力」の向上及び防犯対策の強化に取り組む。

経営課題４、歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化。天王寺の豊富な歴史的・文化的資産を活かし、地域の取組と連携することで、まちのにぎわいと活力の創出に取り組めます。

以上でございます。

○服部副議長

末村区長、どうもありがとうございました。

それでは、ここからは班毎の審議に移ります。事業戦略担当課長から案内をお願いいたします。

○森岡事業戦略担当課長

それでは、ただいまより班毎の会議室をご案内いたします。

子育て・教育班は５階、市民活動団体交流スペースへ、地域社会づくり班は５０２会議室へ、情報発信班は３０１会議室へ、地域福祉・健康班は、このまま講堂にお残りください。

係の者がご案内いたします。

金子議員、須藤議員におかれましては、いずれかの班、または順次、各班を回っていただきまして、意見交換の様子をご覧いただきたいと思います。

各班で議論いただいた後、８時２０分にこちらの３階講堂へお戻りください。

それでは、係の者が皆さんを各会議室までご案内いたします。担当の方は誘導をお願いいたします。

（分科会討議）

○服部副議長

恐れ入ります。

それでは、各班から意見等について、ご報告をお願いいたします。

○子育て・教育班記録係（高橋課長代理）

子育て・教育班について、いただいたご意見をご紹介しますいただきたいと思えます。

大野委員からいただきましたご意見としまして、不登校、ヤングケアラーの内容について、せっかく調査してるものがあるのに、調査しているものを地域や地域の支援につなげることができていないじゃないかというふうなご意見もいただいております。あと、子どもの次世代の育成の関係についてのジュニアクラブでございますけれども、子どもたちが主体的に取り組むということになって、活動拠点に保護者の方がつれていくという状況もあって、恵まれた子どもしか参加できてないという一面もあるんじゃないかというご意見をいただいたところでございます。

次、岡崎委員からいただきましたご意見としましては、ヤングケアラーにつきまして、救う方法、サポートする方法、どうサポートするのかというふうなところについて、精神的な面のフォローだけなのか、金銭的なこともするのか、どういう内容でサポートするのかというところが難しいところだというご意見、あと、実際にはヤングケアラーとお手伝いなどとの線引きというのが、なかなか難しいんじゃないかというご意見もいただいております。あと、ヤングケアラー、不登校、まずは実態を調べる必要があるというところが重要だというご意見をいただきました。

あと、外国の方の小学生ですね。教育について指導する学校が、拠点校が天王寺区にはないというところもあって、ちょっと生徒としては加配校というようなことで、対応できる学校もあるんですけれども、それではなかなか効率が悪いんじゃないか。あとは、天王寺区内としても、小学校、全て教室のほうที่足りないというようなこと

について、どうにかならないかというご意見をいただいております。

栗谷委員からは、子どもたちの持続可能な取組としまして、例えば、子どもたち、小学校、お寺とかに協力をしてもらって、苗から、野菜とかそういったものを育てるような農園みたいなものを作って、苗から育てて、収穫して、料理する。そういったことで達成感を味わえるような取組というふうなことが必要なんじゃないかというご意見をいただいております。まずは小学校、お寺とかにも広げていくというようなことで、食育の観点からも、100周年を盛り上げる観点からも、そういった達成感を味わえるような取組が重要だというご意見をいただきました。

佐藤委員からは、不登校、ヤングケアラーの関係について、大きな問題になる前に、小さなうちに問題を地域と手当てできるようにしなければ、実際に不登校、ヤングケアラーになってしまったら、手の打ちようがなかなか難しいんじゃないか。そういうふうになる前に地域交流などが大切だというご意見をいただいております。

平嶋委員からは、なかなか子育て教育に関する内容、区では取組では限界があるということで、市にも要望して教育委員会とも連携しながら、ヤングケアラーの調査をするということで、まずは実態をつかむことから始めないと始まらないんじゃないかというご意見をいただきました。あと、学校現場からのお声を聞く場ということについて、ぜひ聞くような場というのをぜひもってもらいたいと、学校側の意見も知りたいというご意見をいただいております。

次に、平田委員からは、ひとり親家庭のサポートの関係につきまして、実際にご自身のご経験を踏まえまして、なかなか子どもたちに何をやってあげたらいいのかということで、子ども食堂というのではなく、憩いの家というのをつくってあげることで、みんなで話し合いながらご飯も一緒に作るとかをいうことがいいんじゃないかと。そういう場に親御さんと子どもさんも来てもらって、実際に話を聞いてもらいたいって、そんな場が欲しいという方も多くいらっしゃると思うので、そういった場をぜひつくるべきじゃないかというご意見をいただきました。

それに対して、場所を提供できますよというご意見、大野委員からもいただいております。ありがたいお話をいただいたところでございます。

山田委員からは、ヤングケアラーも不登校の一因だということもあって、実際に支援としましては、ネガティブを取り除く支援ということも大事だけれども、ポジティブな支援、刺激を受ける機会の提供ということも大事じゃないかということでのご意見をいただいております。介護などで、同じ世界を見て生活していると、どうしても視野が狭くなってしまうということで、外の世界を見せる、刺激を受けること、時間がまあそう長くなくても、短くても、そういった刺激を受けることで、手本となる大人との接する機会ということを提供するということが大事じゃないかというご意見をいただきました。

吉田委員からは、次世代の持続可能な取組ということは、すごく大切な取組だと思うというお話、ご意見をいただいております。ただ、取組が中学単位ということで、地域との連携というのをどうするのか、誰が主になってやるのかというのが、ちょっとなかなか見えにくいんじゃないかというご意見をいただいております。

以上になります。

○地域福祉・健康班記録係（辰巳係長）

それでは、地域福祉・健康班のご意見を発表させていただきます。

まず、飯田委員からは、現在いろんな伝達方法っていうものがあるけれども、そういった行事とか、そういったものについての周知につきまして、末端までどういった方法を使って伝達をしていくのかっていうところを模索していくっていうことが重要ではないかっていうようなご意見を頂戴いたしました。

また、江畑委員からは、現在、百歳体操を少しずつでも来ていただけるように、地域の活動として行っておるといったところの報告をいただいております。

また、川畑委員からは、見守りににつきまして、民生委員の方々ですとか、地域の方々の現在ボランティアにどうしても頼っているといったところが、ちょっと限界がある

ように思うというようなお言葉をいただきまして、また担い手がもちろん少なくなっているというようなところがありますので、予算なども含めて、そういった検討とかも必要ではないかっていうようなご意見を頂戴しております。

東川委員からは、地域のほうが、昼間は若い方がいるけれども、やっぱり夜間になると、そういった若い人がいてない状況になって、高齢の方を高齢の方が見守るという形にどうしてもなっているということです、そういう状況を打破するためにも、そういう関わりというものができる場というものの形成が重要ではないかっていうようなご意見を頂戴しております。

また、南委員からも、老人、高齢の方ですね。高齢の方が高齢の方を見ているという状況があるので、そういったものにつきましても課題となっているのではないかと、いうようなご意見を頂戴しております。

橋本委員からは、ふれあい喫茶ですとか、食事サービスですとか、地域での活動について実際増えているのか、減っているのか、参加される方が増えているのか、減っているのかって、いうところの分析が必要ではないかっていうことを頂戴しております。また、新しい方がそういう行事に参加できているのかどうなのかって、いうところの分析も必要ではないかっていうことでご意見を頂戴しております。

堀井委員さんからは、タワーマンションがやっぱりどうしても天王寺区内は増えておりますので、そのタワーマンションのほうで、それぞれのお住まいの方のつながりって、いうのはやっぱり難しいのではないかと、いうご意見ですとか、そういった避難などもどうするのかというところの、人の付き合いって、いうのが希薄になってきているので、そういったところが心配であるって、いうご意見を頂戴しております。また、そういうふれあい喫茶ですとか食事サービスですとか、そういったことをもっと若い人たちにも早くから知っていただきたい、ということの、そういった活動というものが、必要ではないかということで、そういったSNSなどの使った周知というものを考えてほしい、というようなご意見を頂戴しております。

また、服部委員からは、マンションの地域との関わりってというのがやっぱり難しくなっている状況ですけれども、持続的な活動で、働きかけで何とかそのマンションを、地域の行事ですとかそういったところの協力をこれまで取り付けてきたという経験のお言葉をいただきまして、やっぱり難しいけれども、地域として、そのマンションの方々も来られるような取組ってものの働きかけが必要ではないかというものをいただいております。また、町会同士が集まって、こういった活動したからうまいこといったよとか、そういう成功体験みたいなものも話し合える、そういう情報交換はしていく、そういう場っていうものが必要ではないかっていうことでいただいております。

また、服部委員と東川委員からは、会館で行う行事ってというのが多いんですけれども、その会館までちょっと来れないという方もどうしてもいるのではないかっていうふうなご意見いただきまして、もっと会館以外で、違う場所でそういった行事っていうのができないかっていうようなご意見も頂戴したところです。

以上です。

○地域社会づくり班記録係（関口係長）

続いて、地域社会づくり班から主に町会加入に関して議論させていただいた結果についてご報告いたします。

まず、石野委員なんですけれども、町会未加入者も利用するようなイベント、サービスに関して、町会加入者のほうの負担が多いのではないかと。あるいは地域活動協議会の補助金については、事業によって補助金だけではなく、助成、委託、補助と使い分けるべきではないかというご意見がありました。また、町会に入るメリット、入らないデメリットに関しまして、防災の面から理由付けは難しいかもしれませんが、うまく言えないかというようなご提案ですね。あと、マンション新築の際は、町会掲示板の設置を条件にするのはどうかというご提案がございました。

次に、佐藤委員なんですけれども、昨今のSNSの影響から町会に関する若い方

への広報に関しては、SNSの広報であったりするものに専門の業者に契約、活用を考えてはどうかと。コストはかかるんですが、投資と十分言えるんじゃないかというご提案でした。

次に、佐野委員からは、マンションあるいは、商店街、町会、こういったところの担い手が高齢化しており、役員の負担も大きく、希薄化しているというような現状についてご教示いただきました。

次に、高橋委員からは、町会加入促進のために広報紙等で、餅つき等地域行事を紹介するのはよい取組だということではいただいております。また、地域のイベントみたいなものを夏休みの宿題で子どもに考えてもらうコンテストなどはどうかと。またはマンションでの町会加入のルールづくりに関するようなことも可能なら示して、そういうものがあればなということで、ご希望をいただいております。

次に、長谷川委員ですね。地域行事のときに町会加入のメリットを説明して加入を促したりっていうのもするんですけども、大部分、10分の1ぐらいしか加入には至らないっていうような現状についてご教示いただきました。

次に、藤本委員なんですけれども、青少年指導員活動されていたんですけども、集まりがよくなくてOBがフォローしている状態ということで、担い手の少なさについてお示しいただきました。イベント時に引き続き、町会加入あるいは地域の担い手になってもらうなどのアピールは必要ではないかということでご意見をいただいております。

梶井委員からは、町会加入等に関しては、住民、自治会、町会との信頼関係構築というのが有効、必須ではないか。そのためには独居老人の把握とか、みんなで支え合う、声かけ、あるいは、みんなが参加実感できるような交流、努力っていうのを個人レベルから努力していくしかないのではないかというご意見をいただいております。

最後に、竹田委員からは、竹田委員の地域では地域の掲示板を地域で新調して、そこに町会名と地域活動協議会名を入れるというような取組についてご紹介いただきま

した。地元のお祭りでは、参加される団体のうち半分ぐらいが町会、半分は町会ではない団体でされておるということで、町会あるいは町会以外の区別っていうのを、どちらも少なく感じ始めているというようなご紹介をいただきました。

こちらの班からは以上です。

○情報発信班記録係（福井係長）

情報発信班については、主にSNSの使い方であったりとか、次世代に向けたイベントの提案がありました。

まず、児玉委員ですが、SNSの使い方について、最近、使用自体を禁止してる国があったり、誤った使い方についてよくニュースでも取り上げられてる状況で、天王寺区としてSNSの向き合い方や、かつ利用のルールについてどう啓発していくかというご意見をいただきました。

次に、三輪委員ですが、区制100周年事業の中のもりあげ隊の中で、おすすめグルメを募集するという取組をしてまして、その中でも次世代を担うような若年層の店舗を取り上げると、まち全体の活性化につながるのではないかというご意見をいただきました。

もう1点、天王寺と博覧会というイベントがあったんですが、そちらにご参加いただきまして、天王寺区の歩みを知れて非常によかったというお声をいただきました。そのイベントについては、単発で終わるのではなく、ホームページに掲載したりですとか、展示したパネルについて、区民の方の目に触れられるような状況にしてはどうかというご意見をいただきました。

次に、岡内委員ですが、天王寺区は歴史的・文化的な側面を持っておりますので、それをもっと知ってもらうために、中高生が主体的に発信できるような、SNSを積極的に発信したりですとか、あとは中高生の目を引くようなイベントをしてはどうかというご意見をいただきました。例えば、子どもと一緒に参加できるようなツアーですとか、座学だけではなくって体験型のイベントがいいのではないかというご意見を

いただきました。

次、安田委員ですが、SNSへの活用について、地域やマンションでの防災訓練であつたりとか、安心・安全といった側面でも積極的に発信していくのがいいのではないかというご意見をいただきました。特に、障がいのある方や高齢者の方、またそのご家族の方が安心して暮らしていけるような発信を心がけていけばいいのではないかというご意見をいただきました。また、天王寺区、非常に文化施設もたくさんありますので、そういった施設も安心してお越しいただけますよというような発信を心がけたらいいのではないかというご意見をいただきました。

情報発信班としては、以上です。

○服部副議長

各班、どうも情報の報告ありがとうございました。

議題は、以上で終了です。

ここで、区役所に進行をお返しします。

○森岡事業戦略担当課長

服部副議長、ありがとうございました。

それでは、会議全体を通しまして、末村区長からコメントをお願いいたします。

○末村区長

皆様、各班に分かれていただいてのご議論、本当にありがとうございました。どの班のご議論も全部回らせていただきましたときにも、やはり皆様の日々の生活の中からお気づきいただいたことをご発言いただいていたたり、または区の行事などと一緒にいただく中で、お感じいただいていたたりというところで、つい私どもの職員の立場になりますと、お仕事を前に進めていくっていう視点だけでは少し薄くなったりしているようなところもたくさん教えていただけて、本当にありがたかったと思った次第でございます。

それと、もう一つ、大変この点は重要だなと思いましたのが、今回は子育てとか地

域福祉とか、それから地域社会、そして情報発信とテーマごとに班を分かれてお話し
いただいているのだけれども、気がつくと同じところに行き着くと。これが本当に、
まさに区政、皆様とご一緒にさせていただいている領域そのものだなと思ったところ
でございました。

幾つか、大変応援の言葉をいただいたなと思いましたが、天王寺と博覧会の展覧
会、大変よかったというふうにお褒めの言葉をいただいたものがございましたけれど、
担当してくれている課も、本当にたくさんのそのパネルをお貸しくくださる皆様の善意
を、どうやったら皆様にお届けできるだろうかと力を入れてくれておりましたので、
そのようにおっしゃっていただけたのが、私も飛び上がるぐらいうれしかったという
ことと、せっかくの機会だから、情報をホームページにもちゃんと発信してねという
ところでは、じつは議事録の用紙だけは既に掲載させていただいているのですけれど、
ちょっとここ、まだ残念なことに掲示したそのパネル、著作権の関係があって、なか
なか全部うまくいかなかったというようなことで、まだそこにとどまっているので、
次回このようなことがあるときには事前から、なるべく豊富なパネルがまた後で皆様
にネットで見えていただけるようにするという、その応援の言葉をいただいたなという
ふうに思って、うれしく思ったところでもございました。

ほかにもたくさんあるんですけど、もう一つが、事業として取り組ませていただ
いていながら、こういうことももっとやったほうがいいよというふうにおっしゃって
いただいたこと、これはもう、ただただ情報発信や皆様へのお伝えの仕方というところ
で、私たちの努力不足だなと思ったところでもございましたので、この点は区の職
員間でどんどんやり方について、いい案なんかが出せるような環境を私もつくってい
きたいと思ったところでございます。

この場、区民の皆様方、そして職員はもとよりですけども、議員の先生方にもご
参加いただいて、まさに区全体の議論と情報が交わせる場ということで、大変ありが
たく存じますので、次またアドバイザーの先生方のほうのコメントに移らせていただ

ければと思います。

じゃあ、司会のほう、お願いいたします。

○森岡事業戦略担当課長

それでは最後になりますが、金子議員、須藤議員から一言いただきたいと思います。
よろしくお願いいたします。

○金子議員

皆様、長時間お疲れさまでございました。全ての部会を回らせていただいて、非常に皆様の闊達なご意見の交換を聞かせていただきまして、いつもながら本当に今、末村区長もおっしゃっておいりましたけれども、進んでるからこそ課題として認識をしていただいているような、そういったご意見がたくさん出てきておりまして、区役所に対しては、区役所の職員は、皆さんの大事な貴重なご意見いただいたということで、それを区政に反映していただけることと私は信じております。

私から1つ、少し気になったことがございまして、もう前からのこれは課題でありますけれども、町会加入者がやっぱり減ってきているということと、あと青少年指導員の担い手が減っているという、同じような減少傾向にあるのかなと思うんですけれども、この2つについて一気に解決するというウルトラCのようなものは、やはり区役所でも提供することできないかなとは思っているんですけれども、必ず解決していかなければならないなと思うのがなぜかと言いますと、今回部会4つに分かれてお話し合いいただきましたけれども、地域福祉や社会づくり、地域での教育や子育て支援、情報発信も含めて、こういったことを主体となって担っていただくのが、やはり町会の皆さんなんですね。青少年指導員の皆さん等についてもそうですけれども、そういった方々がどんどん減っていくということは、本当に懸念材料として私も認識しております。なので、皆様のご意見を踏まえて、また今後、区役所も一緒になって頑張っていくつもりで意見を頂戴したと思いますので、またこれからもどうぞよろしく区政にご協力いただきま

すよう、よろしくお願いいたします。

本日はお疲れさまでございました。

○須藤議員

須藤でございます。本日は皆さん、ありがとうございます。ほんとに遅い時間まで、こうやって区のことを思って参加してくれること、ありがとうございます。ほんとにありがたいなと思います。毎回来るたびに少しずつ知った、お知り合いになった方が増えていくのは私自身ちょっとうれしいことだなと思っていて、私も、もう皆さんお疲れだと思うので、2点だけ簡単にお話をさせていただきます。

1点目は、いろいろな話が出てましたけれども、1つは未利用地の利用だと思っています。2週間前ほど、生玉寺町、伶人町、あと夕陽丘、3町会合同の名義で旧六万休住宅ですね。昔、アプロっていうスーパーあったの覚えていますかね。あそこが今なくなってしまって、ちょっともう下のライフに行かないともう買えないという状況になってきていると。ああいった買物難民であったりとか、そういったものをなくしていく上で、ああいった跡地にしっかりと特定条件を付けて、例えば、ちゃんとスーパーを入れてくださいとか、病児保育をつけてくださいとか、デイサービスをつけてくださいとか、そういったものをやっぱり付けて、皆さんが、皆さんのご先祖様が買っていった、または払った税金の中で買っていた土地ですから、売ってしまうと、何でも今マンションになってしまうので、そういった未利用地の活用をやはりしっかりやっていかなければならないし、そういった声をぜひ皆さん、ここどうなってんねんと、あとは郵便局の住宅の跡地もずっと放置されてるわけじゃないですか。ああいったのもぜひ教えていただけたらと思います。

もう一つ、最後に、外国人のお話がございました。いわゆる、中国人の方が非常に増えていると。ここで、その中国人の是非を問うことはないんですけども、なんでこんなに増えてるのかというと、簡単な話でいうと経営管理ビザというものがございます、ほとんど。もちろん全てが全て、その経営管理ビザで来てるわけじゃないんで

すけども、500万円以上の資本金を持って、2名以上の日本人の永住者を雇うことによって、この経営管理ビザというものは取れるんですけれども、この要件が緩和されていってます。大阪市も、これを緩和してます。つまり500万円の資本金や2人を雇わなくても経営管理ビザが取れて、かつ1年しか今までは在留資格がなかったんですが、これが最初から2年に延びていくというようなところがございます。

これは外国の外貨を稼ぐために必要なんですけれども、一方で、これが本来イノベーションを起こすために使われるんですが、日本に来るためのビザとして、ある種、悪用されている面もあるんですね。要するにお金さえ払えば、日本のビザは取れてしまうようなことになってしまっていると。なので、そういったことに関しては、地域、地域ごとに地域住民の自治がありますから、どこまで流入させるのか、そしてどこまでそういった流入を抑えるのかっていうことは、やっぱり大阪市としては本気で考えないといけないし、気づいたら周り全員中国人になってるとか、外国人になっているということではなくて、やはり日本人の天王寺区に住んでる方がいらっしゃって、その次に外国の方が来られるというような、しっかりとした状況を今後はつくってきたいなと私自身思っております。

長くなりましたが、皆さん、本当に本日はありがとうございました。

○森岡事業戦略担当課長

金子議員、須藤議員、ありがとうございました。

竹田議長、服部副議長、委員の皆様、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お帰りの際は、区政会議に関するアンケートを出口のところで回収いたしますので、ご提出のほどよろしく願いいたします。本日、ご提出できない場合は、12月10日頃までにお送りいただけますと幸いです。

本日は、どうもありがとうございました。お疲れさまでございました。